



## 山都町立矢部小学校　学校だより

# 自分らしく ~Be Unique~

矢部小HP

令和7年3月3日（月）

第45号

2次元コード ← カラー閲覧できます 校長 池部 聖吾智(みわとも)

前面に掲示した手づくりプログラム（4年）

右：階段に掲示した案内（3年）  
左：進行・発表はすべて児童で

会場入口手づくり看板（2年）

3・4年生は、た部分が見ら  
ちの成長やおもてなしの心を感じました。参観されてい  
る保護者がわが子の方々が成長を記録する姿を見て、こち  
らもほっこりしました。最後まで週間、ずつ一緒にいた気持  
ちは、約3週間、ずつになりました。この間に、少しずつ進歩  
を感じました。また、最後まで一緒にいたからこそ、この子の成  
長を目の当たりにし、これまでの成長を実感することができ  
ました。この経験が、今後も成長を支えてくれると思います。

通常日にわざわざ来ていた  
だく保護者の方々に「子どもたちの活躍する場面を観ても  
らいたい」と、どのクラスも  
子どもの発表場面が組み込まれた見応えのある授業でした。  
特に、2・3・4年生は、  
児童の手が入った部分が見られ、  
子どもたちの成長やおも

授業参観で感じた  
子供たちの成長

3月=「去る」～6年生の矢部小登校日は残りわずか！3日～

3学期はとても短く、残り14日（6年生は1日短い13日）となりました。6年生はいまどんな心境なのでしょうか。「4月からの中学校生活楽しみだな」「まだもう少し小学生でいたいな」・・それそれででしょう。しかし、登校できるのはあと2週間弱。1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。先週末は、6年生と一緒に清和文楽鑑賞に行きました。同じ6年生が文楽を演じているのを観て大きな刺激を受けたことでしょう。ただ、道中気になる点がいくつもありましたので帰校後6年生に私から少し話をしました。そして最後に「卒業式当日は、卒業生一人一人に、お互い満面の笑顔の中で証書を渡したい」と伝えました。私自身も、残されたわずかな期間を大切にして、大好きな矢部小の子どもたちと過ごす時間を“1秒”でも多く作っていきたいと思います。

